

いいいづな

題字／深田明弘

No.91
2020.12.31



『雪化粧をした袖之山のシードル用の林檎』
鈴なりに実ったリンゴは珍しく感じますが、もしかしたら10年後はこのような果樹園が増えるかもしれません。人も果実も多様性が認められる飯綱町となりますように。

photo 西村 啓大

特集

いいいづな

主な掲載記事

- いいいづな 2~5
- おじゃまします・あっちこっちこの町 6
- いづな時空散歩・ど〜こだ!? 7
- 飯綱歴史ヒストリア・スポーツ協会など 8~10
- アルバムからこんにちは・さんぽ道 11
- はぐくむ 12



Webサイト「いいいづな」のトップページ。飯網町の「いい!」を届ける写真の数々。

いいいづな マガジン

町民がライター（仕事として文章を書く人）となり、それぞれの目線でヒト・モノ・コトを取材し、それぞれの切り口で「いい!」と感じた飯網町の情報を自由に発信するWebマガジン（雑誌）。

それが「いいいづなマガジン」。

今回は、その町民ライターの方々にお話をお聞きしました。

「いい!」を見つける
飯網町のWebサイト



「5555555555」 うわっ。

飯綱町の「いい！」ところを発信する、町が運営するWebサイトです。

行政情報のホームページとはひと味違い、知る人ぞ知る飯綱町の魅力や最新情報などの発信に特化しており、町民や町外の方が見ても楽しめる内容が盛りだくさん掲載されています。狩野哲也著『まちのファンをつくる自治体ウェブ発信テキスト』学芸出版社の中でも紹介されています。

「町民ライター」とは？

Webマガジン「いいいいいづな」に記事を掲載する町民のことで、誰でもこのライターになることができます。Webサイトには、11月30日現在で17名が町民ライターとして登録されており、119もの記事が掲載されています。

今回はそんな町民ライターの中から4名の方にお話を聞きしました。

眞鍋知子さん（坂口在住）
2年半前、廃校活用事業というミッションに惹かれ、地域おこし協力隊として東京か

ら飯綱町にやってきました。東京ではフリーの編集・ライターとして働いていたのですが、ちょうど町が運営するWebマガジン「いいいいいづな」が始まるタイミングで、スキルが生かされるとこちらの運営にも携わることになりました。



町内の人が見て面白がるページにしたい
Webマガジン

の当初のコンセプト（構想）は、どちらかというと町外の人（飯綱を知らない人）向けに、飯綱のいいところを紹介するものでした。実際、移住したいと考えている人から「いいいいいづなっていうサイトを見た」と言われることが多いです。そうした評価も嬉しいですが、町内の人にもあまり知られていないのが残念だなと常々思っていたので、これからは、もつと町内の人々が面白がるページにしたいねとアイデアを出し合っています。町の人が楽しんでるのを町外の人が見て、「盛り上がりつつあるね！」と興味を持ってもらう、町民ファーストの方が、Webマガジンはもつと活用してもらえないかと思っています。

多くの人にライターになってほしい

ライターと言うと「文章なんて書けない」と敬遠する方が多いですが、難しく考えずにチャレンジしてほしいです。現在は、1記事3500円の原稿料をお支払いしています。今まさに在宅ワークが推奨されているので、副業にしてもらえたらいいですね。

楽しんで書いてもらいたい

町民ライターさんには、義務とかノルマではなく、楽しんで書いてもらうことを大切にしています。文章に自信のない方でも、丁寧にアドバイスをします。実践的な力がついて、プロライターとして独り立ちできるようにもなってもらえたら嬉しいです。もし文章が苦手でも、イラスト、写真、動画撮影など、いろいろな手法の町民ライターさんがいたらいいなと思っていますので、老若男女、どなたでも気軽に参加してほしいです。

メジャーな観光地じゃないところが魅力

飯綱の魅力は、メジャー（有名な）観光地ではないところだと思っています。地元の人には謙遜して「こんな何も無いところ」と言いますが、その「何もない」がいいんです。ほどよい田舎感やリゾート感があって、住んでいる人は魅力的な人ばかり。交通アクセスも良く暮らすのにいいと

講座を開催予定

「ライターかあ…。気になるけど第一歩がハードル高いなあ」という方は、Webマガジン主催で講座を開いていきますので、ぜひご参加ください。

お問合せ：カンマッセいいづな
TEL026-219-1210

- 第1回：動画のイロハ講座（1月21日開催）
@いいづなコネクトEASTチャレンジラボ
 - 第2回：アップルパイ講座（1月26日開催）
@りんごパークセンター
 - 第3回：編集のイロハ講座（2月開催予定）@ZQ
- ※写真のイロハ講座も開催予定です

体験してみると、町民ライターを身近に感じていただけられるようになるかと思えます。Webマガジのさらなる活性化のために、今後は町のいろ

はつさく堂さん(東高原在住)

神奈川県出身。大学はアメリカの田舎町に留学。長野市の出版社に勤務の後、青年海外協力隊に参加してコスタリカの小さな村で活動しました。帰国後、東京でフリーランスライターとなり、2017年に飯綱町に移住しました。現在もライターとして活動しています。

いろいろな機関とタイアップ(提携)も考えています。「いいいいいづな」を、町民の皆さんの町民による町民のためのサイトにしていきたいです。

ことなく長野に移住しました。

小さな町で夜がちゃんと暗くなるのがいい

飯綱町は「小さな町」というところが好きです。風景的なことを言うと、視界が広がって家がそれほどなく、夜がちゃんと暗くなるのがいい。山の景色もいい。雪も降る。そして農業の町。人の営みが自然の中に溶け込んでいくところがいい。人もすごく優しいです。

一般の人達に スポットを当てたい

文章を書くことは、学生の頃から好きでした。書いて人に伝えることが好きです。見たこと経験したことを伝えたいという思いもあり、主に雑誌でその表現を学びました。そしてそれが今に続いてい

ます。町民ライターとして思うことは、目立つ人だけではなく、一般の人達にスポットを当てたいですね。普通に生活している人の昔ながらの生活そのものが興味深いので、生活に寄り添った形の記事が書きたいです。小さくても周りに影響を与えながら生活している人達の生活を切り取って紹介したいです。

記事が少ないのが悩み

Webマガジンの中の私の役割は、町民ライターであると共に、ライターが本職でもあるので、町民ライターさんの記事に目を通してアドバイスをしています。いいところ、伸ばしてほしいところを褒めるようにしています。そこをその人の個性にしてみたいです。Webマガジンは、記事が少ないのが悩みです。町民ライターさんがもっともっと増えてほしいです。それぞれ興味のベクトルが違う方向に向いているので、自分が「いい!」と思うことを、いろんな角度から取材してもらえればいいですね。ちょっとでも興味を持ったら、取材

したいなあと思ってほしいし、どんな小さなことでも面白い記事になることを知ってほしいです。独りよがりではないブログと意識してもらえればいいかもしれません。顔出しなしのペンネームもOKです。

紙媒体とWeb媒体の コラボレーション(協力)

Webはメディアの目に留まりやすいです。Webの記事

KAORUさん(普光寺西部在住)

上田市菅平高原で育ちました。横浜に住んでいましたが、その後長野市に移住、2015年に飯綱町に引っ越ししてきました。

子どもたちが成長して、アパート暮らしも狭いので、北信広範囲で戸建住宅を探していました。そんな時、友人の紹介で空き家物件があり、見に行ったら今の住んでいる場所です。空が広くて家から見える山の景色が気に入って決めました。



事から、ラジオやテレビの取材に繋がったこともあります。Webマガジンが元気だと、飯綱町の注目度がアップすると思います。でも、Webマガジンは、ネット環境のない方にはなかなか見ていただけないという欠点もあります。紙媒体の公民館報とWebマガジン、両方のいい所を活かしてコラボしていけたらいいと思います。

10年以上放置されていた築100年以上の建物でしたが、草刈りをし、床や壁を直して住んでいます。今もリノベーション(修復)は続いています。

飯綱町に引っ越してすぐに末っ子を授かり、その子が1歳になる頃にタイミングよく町のワークセンターが完成し、



そこを利用していました。ワークセンターにライター募集のチラシがあり、やってみたことはすぐ行動に移す性格なので、ライターになりました。取材すると、いろいろ学べて話が聞けて、自分の好奇心が満たされていきます。

書くことは未経験でライターの仕事は初めてでした

内容は自由に書きますが、プロライターの真鍋さんとはつさく堂さんに直してもらえ、前提で書くので安心して書いています。ライターになって自分の作文力が上達しました。記事の内容は、アポを取り取材をし、書く時間は短くても2時間から半日くらいかかります。仕事の傍ら記事を書いているので、月に2本書けたらいいなと思っています。

書きたいといは

沢山あります

いづなまの「いいー」を見つければ、除雪車や地熱発電のことなど、自分の中で書きたいことがいっぱいあって、記事にするのが順番待ちです。書きたいことを書いてもらううちに、テーマを与えられて書

くことも増えました。今まで書いた記事の中で印象深いのは台風19号のことです。この時は3ヶ月かけて記事にしました。

三水地区に住んでいますが、牟礼地区の記事も書きたいです。

公民館活動というものが新鮮

飯綱町で生活している中で驚きや発見がたくさんあります。公民館活動というものが新鮮です。横浜市や長野市にいたときは、公民館はただの建物というイメージでしたが、組織で様々な活動をしていることも新鮮に感じます。

もともと飯綱町に

住んでいる人たちにも

スポットライトを当てたい

飯綱町は活気があると思うので、これからも更に盛り上がってほしいです。移住者が取り上げられるだけではなく、もともと飯綱町に住んでいる素敵な人がたくさんいるので、その人達にもスポットライトを当てたいです。そして記事の所々にみつどんを忍ばせ、みつどんファンの輪を広げていきたいです。

イツナマスオさん 山口晴士さん(福井団地在住)

京都府出身。社会人になって最初の赴任地が長野市でした。長野の生活が心地良く、そのまま移住し、今は自然豊かな妻の実家である飯綱町に住んでいます。

出身地ではない長野県に住むことに抵抗はありませんでした。京都は夏は暑いし、冬は意外に寒くて台風もくるし長野が住みやすいです。京都と長野を比べたら住むなら断然長野が良いです。

気軽にライターになれました

ライターになったきっかけは、町の広報紙いづな通信で町民ライター募集を目にしたことです。飯綱町という規模の町であるがゆえに手を挙げやすく、気軽にライターになれたと思います。長野市などではこんなに気軽になれると思います。もともと書くことは得意というわけではなく、いづなが、編集で手直しをしてもらえるので書いています。ライターになったことで知った町のことが多くある。ライターになって、町の人と触れ合い、ライターになら

ないと知れなかったことが多いです。書きたいことは沢山あるのですが、仕事をしながらなので時間が取れなかったり、取材の予定を立てたり、いい写真を載せるために写真を沢山撮ったりするので、記事にするまでが大変です。

インターネットで検索して自分の記事が出ると嬉しい

1つの記事を書くために日中は取材をして、1日かかります。今までの記事の中で好きなのは、福井団地の夏祭りです。インターネットで飯綱町の祭りを検索したときに記事が出てくるのが、見てくれているんだなと嬉しかったです。ライターをしていることは家族でも話題になって「いいねー」と言ってくれま



す。妻にも読者からの反響があるようです。

身近なところから記事にしたい

ここのご飯がおいしかったとか、身近なところから記事にしたいです。飯綱町は住みやすく、人も良くて何不自由なようです。人口が減っているようなので、たくさんの人に来てほしいです。ライターとしての役割は、町の「いいー」ところをアピールすることだと思います。育った京都と、飯綱町の比較ができることが、「いいー」を見つけた秘訣です。

飯綱町の「いいー」を

見つけてみませんか

今年の冬は、なかなか外出が難しい世の中になってしまっています。ご家庭で「いいいづなマガジン」をご覧になってみてはいかがでしょうか？

ようか。今まで知らなかった飯綱町の「いいー」を知ることができると思いますよ！また、どなたでも町民ライターになることができます。あなたも飯綱町の「いいー」を発信してみませんか？

おじゃま
しまあ

「泉が丘喫茶室」 いづなコネクトイースト1階(赤塩)

なぜ「泉が丘」？店長の植田麻緒さんにお聞きしました。「名前の由来は小学校の卒業式でのOBたちの掛け声『泉ヶ丘』からきています。前身の赤塩中学校の応援歌に出てきた言葉で文集にも載っています。地名では泉平。赤東地区の人は皆が知っている言葉とのことです。」

植田さんは大阪で10年間お店をやっていました。お店をやるのが趣味で仕事。骨董が好きでお店にある戸棚には小学校のビーカーなど備品が入っています。壁は赤で色鮮やか。ももとの小学校の印象からそのままイメージしたお店作り。看板メニューのタルトは生クリームが苦手な人や原材料にこだわりがある人にも思った以上に人気。さっそく地域の高齢者から小学生まで常連さんもできてきました。お客さんは町外の方も多く、ケーキ作りは大阪にいた10年間で得た独学！両親は飯綱町のリンゴ農家で、夫は大阪から移住。リンゴも手伝い「リンゴ畑の空気が清々しい」と感じるそうです。眺めのいい窓、趣のある机、地域の骨董や小学校にあった昔の電話機、書物など飾り付けのセンスが見つけられます。



飾り付けのセンスが見うけられる店内



リンゴをはじめ、人参やチーズのケーキも

「リンゴを生で食べる他」、焼いたリンゴなど、『食べたことのないリンゴの食べ方』を知ることができるので、お店に来てリンゴを味わってみたい」と話す植田さん。実は町の地域おこし協力隊です。「タルトタタン」はリンゴを長時間煮たとても手間がかかるケーキ。材料のリンゴの品種は季節ごとにかわります。「泉ヶ丘」という地域の言葉がついた喫茶室で、コーヒーとケーキをいただきました。美味しかったです。(高野)



高岡神社の大杉

は、昼間はラーメン、夜はお酒が楽しめます。その他にもコミュニケーション等「自然・スポーツ・健康」をテーマにした複合施設になっています。さあ皆さんも、ずく出でて、行ってみましよう！(速水)



夕日山 金子すみれ

No.54 生まれ変わった旧牟礼西小

前々回、No52に続いて、春にオープンしました旧牟礼西小学校跡地の「いづなコネクトWEST」を紹介した

と思います。玄関右の受付横には、高岡神社の大杉が出迎えてくれます。校庭に作られた、全面人工芝のサッカー場(いづなパルセイロフィールド)はとても素晴らしく、実際に何度も使わせていただいています。子ども達や他のサッカーチームにも好評です。施設内には、どちのきランドリー(羽毛布団や大きな物も洗えます)。職員室をカフェ風にリノベーションしたとちのき食堂で

飯綱町の活断層（その1）



飯綱町の中央、北東-南西方向に連なる丘陵に注目

2020年10月17日の朝刊1面に「信濃町と飯綱町で活断層発見」の記事が出て、驚いた人も多かったと思います。

活断層とは、「過去数十万年の間に動き、将来もまた動く可能性がある断層」のことを言います。断層

に沿って地下のかたい岩盤がずれると、その衝撃が波となって地盤の中を伝わり、広範囲の地面をゆらします。これが昔の人が地震を起こすと想像した「地下の大ナマズ」の正体です。弘化四年（1847）の善光寺地震は、善光寺と門前町だけではなく、当地域を含む広域に大変な被害をもたらしました。その大地震を起こしたのは、長野盆地から見たときの西山の丘陵の縁に沿ってはしる「長野盆地西縁断層帯」と呼ばれる有名な活断層です。

今回発見された断層は、町役場の北西1km余りの地点、鳥居川の右岸にあります。今年5月に共同研究者とともに「このあたりが怪しいネ」と相談していて、現地調査をしてみるとそこにありました。写真は町のふれあいパーク下から国道18号線方面を見たものです。中央横にやや黒っぽく帯状に見えるのは、北東-南西方向に連なる高まり（丘陵）で、北国街道の難所として知られた小玉坂もその丘陵の一部です。詳しい研究はこれからですが、この坂の成因と活断層との関係が注目されています。（いづな歴史ふれあい館長 富樫均）

シリーズ人権めぐり ねがい

91

新型コロナウイルス感染症が1月に国内初の感染者が確認されてから、1年近くの今、第3波のピークを迎えています。今までの生

コロナ禍における人権とは

活様式や働き方も変化し、それに伴う我々の意識も同様です。今後も続くコロナ禍での、人権とは何？を考えてみます。日本国憲法では「国民主権・基本的人権の尊重・平和主義」の3つの基本原理があります。中でも「人権」については中学校の教科書より引用すると「人が生まれながらに持つて

いる人間としての権利で、人間がかけがえない個人として尊重され、平等に扱われ、自らの意思に従って自由に生きるために必要な権利である」と記されています。近年は更に「知る権利・プライバシーの権利」も盛んです。毎日を感染による恐怖や不安をもって生活していると、「誰がどこで、どうして、なぜ」が先行しての情報収集が先で、該当者のおかれていた立場等を少しでも考えれば理解ができてくることなのに、そこで思考停止します。同じ社会の一員としてコロナ禍でも、あらゆる人々を尊重する。それができなければ、誹謗・中傷・糾弾をしないことです。本当に、これからが我々自身の「真の人権意識」を問われる時なのではないでしょうか。

（社会教育委員 富岡耕二）

ど〜こだ!?

これは、どこから撮った写真でしょう。

ヒント 普段通っている方は見慣れた光景ですね。



90号「ど〜こだ!?」答え

奈良本大平（奥は志賀高原）



飯綱歴史ヒストリア

後編

文・小山丈夫 絵・小林浩道

文明開化の明治時代

鉄道建設の現場が

コレラの発生源になりました

明治十九年（一八八六）

信越線工事で集まった

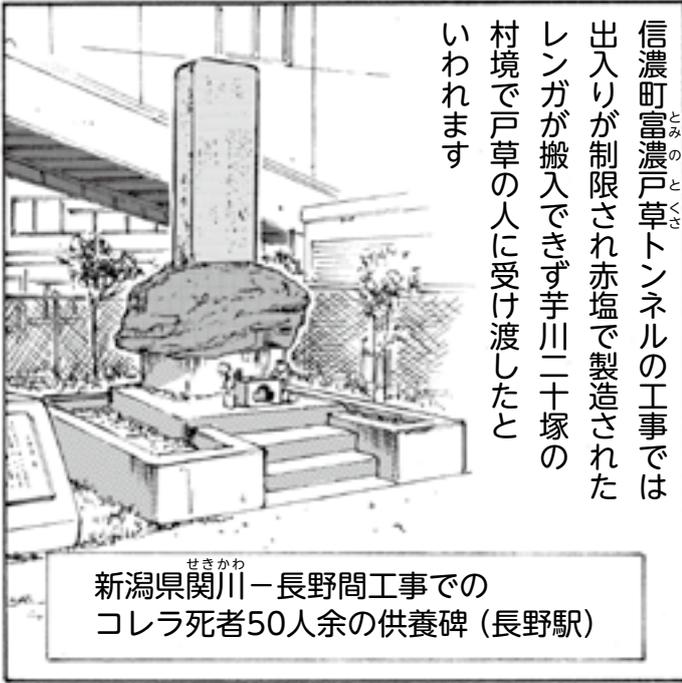
工夫の間にコレラが

蔓延し周辺地域にも

拡大したのです



信濃町富濃戸草トンネルの工事では
出入りが制限され赤塩で製造された
レンガが搬入できず芋川二十塚の
村境で戸草の人に受け渡したと
いわれます



新潟県関川-長野間工事での
コレラ死者50人余の供養碑（長野駅）

明治三十年（一八九七）前後には

全国的に赤痢が流行

上水内郡内は六年間毎年

数百人の感染者があり死亡率は

三割近くに達しました

高岡村（飯綱町西部）では

人口二二〇〇人余のうち

二年間で七四人が死亡

行政は予算の多くを

伝染病予防費にあて

患者を隔離する避病院の

整備と運営に傾注
しました



高岡村の新井神社（今の古町神社）では

一八九六年から六年間の秋祭りは

赤痢流行により献灯や神楽を中止したり

規模を縮小し短時間で祭事を行ったと

記録にあります

一九〇一年は終息したと思い

早くから神楽の稽古などをして

いましたが突然患者が発生したので

中止せざるを得なくなりました



天然痘やコレラ赤痢などさまざまな

感染症が流行し日々の暮らしを脅かしました

医学の進歩はそれらのいくつかを克服しましたが

今回のコロナウイルスのような新種があらわれると

また先人と同じく心身の不安に

さらされることになりました

歴史は繰り返すといいますがこうしたときこそ

先人の歩みを振り返り対策の成功失敗の
教訓に学ぶことが大事ではないでしょうか



第6回飯綱町小学生駅伝競走大会

11月3日(火)に毎年恒例となった飯綱町小学生駅伝競走大会が開催されました。

今年新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催となりましたが、町内の小学生が育成会、スポーツ少年団などでチームを編成し、12チームが参加しました。大会結果については次のとおりです。



- 総合順位
- 第1位 ウキウキ族
(丸山 玄翔、仲俣 悠太、上野 翔琉、大川 暁佑、近藤 友晴、本山 秀斗、本村 文、山岸 由也)
- 第2位 飯綱ミニバス
(小林 桜空、長崎 純、伊藤 陸羽、湯本 健尊、澤田 康太郎、宮本 侑空、長崎 慶)
- 第3位 すずめ
(平井 碧人、平井 聖人、高野 泰佑、山田 紗愛、竹津 空斗、仲俣 河陽)

○学年賞

- 1年 男子：永野 涼太 女子：出場者なし
2年 男子：藤木 栄哲 女子：高野 有紗
3年 男子：西沢 晴 女子：丸山 奈緒子
4年 男子：宮本 侑空 女子：大川 花南
5年 男子：澤田 康太郎 女子：伊藤 美桜
6年 男子：小林 桜空 女子：山田 紗愛
- 最速賞
男子：丸山 玄翔(6年) 女子：仲俣 綾乃(3年)

2020図書館まつり

俳句と川柳受賞作品

- 俳句の部
最優秀賞 読みさしのページに紅葉みけり 日野秀静
優秀賞 どなたかなマスクの中の目が笑う 荒川しげの
入選 いづなの冬の星空日本一 てる女

- 川柳の部
最優秀賞 新色の紅よりもまずマスク減り 土屋裕美
優秀賞 咳すればならむマスクの目の怖さ 日野秀静
入選 さん、みついつぱいだー飯綱りんご 出口哲朗

- 審査 俳句：(公社)俳人協会長野県支部評議員 川柳：飯綱町教育委員会事務局

いづなスポーツクラブからのお知らせ

食による健康管理の講座

- 日 時：令和3年2月上旬予定 午前9時半
場 所：飯綱町健康管理センター
募集定員：先着20名

第14回ラリージボール卓球大会

- 日 時：令和3年3月14日(日) 午前9時
場 所：三水B&G海洋センター体育館
チーム編成：1チームダブルス3組で男女混合としてします。

募集チーム数：先着16チーム

- 締切日：令和3年3月6日(土)までに申込
用紙を三水B&Gへ提出してください。
さい。

いづなスポーツクラブ講演会開催について

- 野本整骨院野本真一先生の講演会
日 時：令和3年3月下旬予定(自由参加)
場 所：三水B&G海洋センター
問合せ先：いづなスポーツクラブ
TEL 2533-8951



中学校図書館新着本

- 白日 月村了衛
- 銀鈴探偵社 中山七里
- お探し物は図書室まで 青山美智子

- 2020年の恋人たち 島本理生
- オルタネート 加藤シゲアキ
- みがわり 青山七恵
- いのちの停車場 南 杏子
- ブラックウエルに憧れて 南 杏子
- サラと魔女とハーブの庭 七月隆文
- なにごともなく、晴天。 吉田篤弘
- 神さまの貨物 ジャンリックロード・グランベール
- モンテレッジオ小さな村の旅する本屋の物語 内田洋子
- 旅のつばくる 沢木耕太郎
- 青春とは、 姫野カオルコ
- わたしの好きな季節 川上弘美
- 洗浄と雑菌のはなし 新名史典
- 世界史に学ぶコロナ時代を生きる知恵 出口治明
- 色の楽しみ 暮らしの図鑑編集部
- スーパード買ってはいけな食品ガイド 渡辺雄二

公民館図書新着本

一般図書

- 滅びの前のシャングリラ 凧良ゆう
- アンと愛情 坂木 司
- 犬がいた季節 伊吹有喜
- 鎌田實の人生図書館 鎌田 實
- 孔丘 宮城谷昌光
- 冬の狩人 大沢在昌
- 善意の罪 久坂部羊
- 日没 桐野夏生
- この気持ちもいつか忘れる 住野よる
- 育ちがいい人だけが知って いること 諏内えみ
- 棚からつづ貝 イモトアヤコ
- 緊急提言 パンデミック ユヴァル・ノア・ハラリ
- 安倍・菅政権VS検察庁 村山 治
- 寂聴残された日々 瀬戸内寂聴
- 児童図書・絵本
- 細菌ホテル
- ぼくといっしょに
- カメレオンのかきこりや
- ふゆじたくのまえに
- 悲しみのゴリラ
- ステラとカモメとプラスチック
- ジヨージナ・ステイブンス
- 大どろぼうジャム・パン 内田麟太郎

さわやかマレットゴルフ大会開催



10月18日(日)に飯綱町ふれあいパークマレットゴルフ場にて、さわやかマレットゴルフ大会が開催されました。8時30分より開会式を行い始球式後、それぞれプレーをスタートしました。参加者は23名。少し肌寒さがありましたが天候に恵まれて、皆さん楽しくプレーされていました。大会中にはホールインワンも出て歓声上がるなどにぎやかでした。参加した皆さんには満足していただけたかなと思います。

飯綱町フレンドリーマッチサッカー大会開催しました



10月24日(土)、飯綱町ふれあいパーク運動場にて小学生のサッカー大会をFCイイヅナの保護者の皆様の協力で開催しました。

例年はイレブンカップとして小学生の低学年・中学年・高学年と3ブロックで試合を行っていましたが、今年はコロナウイルス感染症対策として、今まで通りの開催は無理だと判断したことで、近年

天候不良で中止になっていたことから、高学年のみでの開催としました。

開会式は省略、閉会式も自陣にて待機してもらい、呼び出し方式で表彰をするという形で行いました。何とか工夫をすることで大会を運営でき、参加チームの選手、監督の皆さんに喜んでもらえたようです。

審判指定講習会の会場当番でした

10月31日(土)と11月1日(日)の2日間にわたりゲートボール審判1級・2級の指定講習会が開催されました。今回は飯綱町が当番とのことで県のゲートボール連盟より、講師先生や事務局の方などが来町され、会場となった元気の館からの景色に感心される一幕もありました。1級は全国大会で審判ができ、2級は都道府県単位の大会で審判ができるなど活躍の場が大きくなります。審判の資格試験は指定講習会の内容から出題されるため、今回の講習会参加者29名の皆さんは真剣でした。元気の館と視聴覚室にて座学を行い、屋内ゲートボール場で実技の講習が行われました。今回の講習参加者の皆さんの試験結果はどうだったのでしょうか。気になるところです。



スポーツ協会 試合結果

■子どもの部

長野県小学生フェスティバル
U12県大会

期日 10月25日(日)

場所 飯島町

優勝 牟礼VC

(2021年2月北信越大会
に長野県代表として出場予定)

■大人の部

飯綱町秋季ゲートボール大会

◎前半

期日 9月5日(土)

会場 飯綱町屋内ゲートボール場

優勝 南部

準優勝 黒川

3位 川上

敢闘賞 普光寺

◎後半

期日 10月10日(土)

会場 飯綱町屋内ゲートボール場

優勝 栄町

準優勝 黒川

3位 芋川

敢闘賞 福井団地

さわやかマレットゴルフ大会

期日 10月18日(日)

会場 飯綱町ふれあいパークマレットゴルフ場

優勝 広田

準優勝 渡辺

3位 彦坂

優勝 荻原

準優勝 市川

3位 小林

女子

信光

健治

宗雄

峯子

温子

節子

アルバムから こんにちには

地区子ども会の夏祭り

〜平成6年頃、
芋川御所之入公会堂にて〜

おそらく、各組ごとに行われていたであろう地区子ども会の夏祭りの写真だと思えます。全く記憶にないです(笑)。スイカ割り楽しそうですね。周りで「もつと前だよ」、「右、右」、「もうちよつとだけ右前」、「いや、行き過ぎ」、などワイワイ声を掛けているのでしようね。子ども達も写真に写って

いるだけで9人はいて、きつと周りにはもつと沢山いるはず。全く覚えていないのに、写真を見るだけで当時の様子がイメージでき、盛り上がりや熱気まで伝わってくるようです。子ども達が大勢集まって、「飲食」を気兼ねなくできることを願うばかりです。

(飯田)



目隠しているのは、私かな?

「俳句」

(飯網俳友会)

手習いに気合いを入れて賀状書く

東 奈々子

野仏の肩を寄せ合い冬立つ日

前野 泉

マスクして更に際立つ瞳かな

田宮 秀英

冬二人一歩下って正座かな

寺島美恵子

立ち読みの後ろめたさや一葉忌

日野 秀静

誰彼もマスク姿で無表情

仲俣 一重

風寒し荃なお青きまんじゅしやげ

龍野 由子

ざり落ちるマスク押さえて登校児

荒川しげの

新妻が正座を崩す炬燵かな

高野 修

千し大根手触り良しと漬ける姿

中嶋 良秋

「短歌」

秋日和赤いりんごに舞いきたる

蜂つぎつぎと穴あけ食べる

ゆくりなく山栗ひろい感激す

草かき分けて手も震えがち

黄金の田日ごとに少なくなりゆきて

雀の大群落穂をさがす

祖母と姑忌日も同じ仲のよき

爛漫の菊盛り上げ供う

黄金の田日ごとに少なくなりゆきて

雀の大群落穂をさがす

祖母と姑忌日も同じ仲のよき

爛漫の菊盛り上げ供う

黄金の田日ごとに少なくなりゆきて

雀の大群落穂をさがす

祖母と姑忌日も同じ仲のよき

爛漫の菊盛り上げ供う

外山 吉恵

道 ぼ ん さ

「コロナで自粛という世の中のルールを吹き飛ばすように、「鬼滅の刃」の漫画や映画が大ヒットとなりました。「鬼滅の刃」は鬼と化してしまつた妹を人間に戻すために戦う姿を描いた物語です。戦いの中で起こる友情や家族の絆、主人公達の生き方などが、子ども達の心に触れ、深く刻まれたのでしょうか。

さて、この物語は日本神話が書かれている「古事記」に関係が深いということをご存知でしょうか?

日本の国土となる島を生み出したイザナギとイザナミ。その子どもであるカグハヒはのれたかな?

(高橋瑞穂)

～三水小学校作品紹介～



「つるひっこぬいて いもひっこぬいて」
永野涼太さん(1年1組)



「いっばいとれた」
岩本蘭真さん(1年2組)



「たねいっばいのひまわりー」
三ツ井柚花さん(3年2組)



「キャンディいままでありがとう」
山浦煌誠さん(2年1組)



「楽しそう!」
渡邊来希さん(3年1組)



「まぼろしの“元気になる”花」
天野結翔さん(4年1組)



大川七菜さん(4年2組)



「ふわふわした気持ちと少しのいかり」
尾崎希さん(5年1組)



寺島奈那さん(6年1組)



「私の心」
栗原千尋さん(5年2組)